

環境の都ニュース

2019.1.1 NO.98

“環境の都”を
めざして

発行

長岡京市環境の都づくり会議

責任者：江川 宗治

編集者：安楽 裕子

謹賀新年

異楽共生

先日、内閣府国際青年育成交流事業で来日したラオスの女子学生の一人が我が家にホームステイしました。ラオスには 49 の種族があり、異なる言語が使われているようですが、共通語はラオス語とのこと。伝統や文化が異なっても、人は生き方を共有、共生することができます。

人は誰もが同じであって、同じではありません。同じは心でしか認知できません。五感で接するとみな異なっています。生き方もみな異なっています。しかしその異なった生き方があるから、共に生きるのが「また楽しからずや」であり、「みんなちがってみんないい」のです。私は常々、異を楽しみ共に生きる「異楽共生」の生き方をしたいと考えています。これは国連のSDGs（持続可能な開発目標）に通底しています。

スポーツの祭典オリンピックが近づいてきました。スポーツはルールに従って技を競い楽しむのです。私はテニスをする時、相手コートにボールを打ち込むだけなのに夢中になります。スポーツの語源は「楽しい活動」です。欧米では肉体的な競技だけでなく、チェスやオセロなどもスポーツです。知略を競い差異を楽しむのです。将来は囲碁や将棋もオリンピック種目になるかもしれません。

社会は異なる人々の集まりです。人は個人的にも集団的にも差異を消化して成長します。共生は異生つまり異なる生を前提に異生と楽しんでこそ共生に意味があります。経済格差の是正などは必要ですが、差を楽しむゆとりも持ちたいものです。男女の差も LGBT などの顕在化で複雑になってきましたが、だからこそ楽しみが増えたとも言えます。昨年、長岡京市環境の都づくり会議は向日が丘支援学校と交流することが出来ました。これは大きな一歩だと考えています。高齢化社会は認知症などの新たな格差も増えてきますが、私は七度目の亥年を迎え、「異楽共生」で生きたいと思えます。

西村日出男（こここ CO ライブ）

いたずらに 食み重ね来し 祝い餅
今朝またむかふ 亥年ななたび
(日出男)

祖父の光造が子年（1960年）に詠んだ歌の替え歌

新春クロスワードパズル

問題

A~H を並べ替えると、或る言葉になります。
(ヒント：SDGs)

1		2A	3		4			5	6
	7			8	B			9	
10						11	12	C	
13	D		14		15				16
17		18					19	20	
21						22		E	
	23		24	25					
26F			27	28G					29
			30	31		32		33H	
34							35		

解答の応募は江川（裏面参照）までお願いします。
正解は次号（4月1日発行）に掲載。

タテのカギ▶

- 1：平等や公正を否定するときに使う。（目標 5、10、16）
- 2：大晦日の夜。
- 3：すべてを変えること。
- 4：地球表面積の約 4 分の 1。（目標 15）
- 5：大空。高くまたは遠く隔たったところ。
- 6：青い光沢のある宝石。七宝の一つ。
- 7：これに対して、具体的、緊急対策をとる。温暖化防止対策など。（目標 13）
- 8：フェイスブックを見て、良かったらこれを送りましょう。
- 10：〇〇（推任） 日向守」の前から読み。
- 11：日本特産の常緑高木。早春に開花するが、花粉アレルギーの原因ともなる。
- 12：資金や技術など、みんなと協力して目標を達成しよう。（目標 17）
- 15：届ません。不在です。
- 16：関西弁で「互い違い」は？
- 18：世界遺産登録への可否を事前に審査する機関。
- 20：他の物にたよって成立、存在すること。自立の対立語。
- 22：二つの荷物をひもでつなぎ、前後に分けて肩にかけること。またはその荷物。
- 25：人が無意識にしばしば行う動作。普通とは異なった特徴。
- 26：これは困ります。食品廃棄削減、食品ロス削減に取り組む。3010 運動。（目標 12）
- 27：100 周年の「琵琶湖周航の歌」にも歌われる町。
- 29：物事の処置、運用を人に頼んで任せる。
- 31：これが回ると良くないことが多い。
- 33：中に物が入ってないこと。うつ。

▼ヨコのカギ

- 2：自首と同意。
- 4：再資源化、廃棄物の排出量を減らす。（目標 12）
- 7：あらゆる人の成長に関わる営み。（目標 4）
- 9：木々の緑、これの破壊を阻止する。（目標 15）
- 10：養殖真珠の母貝。これの成長は海の環境変化に大きく影響される。（目標 14）
- 11：密偵。間者。
- 13：めつたにない。稀であること。
- 14：再生可能なこれの割合を増やす。（目標 7）
- 17：平らな大地。大地の平面。
- 19：野外での排泄をなくす。（目標 6）
- 21：あらゆる国、地域、場所、あらゆる種類のこれをなくす。（目標 1）
- 22：文楽の世界で、人形使いが人形を使う場所。
- 23：一人称の代名詞に付いて、謙譲の意を添える。
- 24：映像を映し出す場所、平面、幕。
- 26：農林水産省
- 28：用事が多くて、気持ちが落ち着かない。
- 30：竹、梅と並ぶめでたい木。
- 32：このような伝染病を根絶する。（目標 3）
- 34：これが出来るまちづくりを目指す。（目標 11）
- 35：加えること、足すこと。有利になる。（目標 8）

作：西村日出男

活動のねらい

SDGs（国連の持続可能な開発目標）が地域に普及することを目指します。

活動の実際

SDGs を標榜している行政、企業、団体、個人などの活動取材し、「環境の都ニュース」に掲載します。



プロジェクトのロゴマーク

プロジェクト名の説明

「ここ」は今いるところ、地域であり、この地球です。
 「こなた」は主体・自分です。二人称（あなた）としても使います。
 「これから」は今を含む未来に向かう持続可能性です。
 「共に」CO は、色々な人やモノ、他の生き物や地球との（共生）symbiosis です。（包括）inclusive でもあります。
 「生きいきと」live は、あらゆる（もの）がその生命・存在を（まっとう）well-being できる（こと）への願いであり、その（まっとう）に向けて微力を尽くす決意でもあります。もちろん（生きる）live の意味も含まれます。

長岡第四小、金ヶ原竹林ですくすく教室

あいにくの雨模様の子報も朝には一転晴天に。風もない暖かい陽気の中、第四小の児童10名が保護者同伴で金ヶ原のフィールドアスレチックに来てくれました。

しかも学校から現地までの登り道を徒歩で小一時間をかけて到着。すっかり汗をにじませ息を弾ませてやって来てくれた姿にわれわれ指導員も感謝感激！

喉を潤した後、早速、教室を開講。環境の都づくり会議の活動紹介の後、三班に分かれていざ行動開始。手作りの大型ブランコに滑車滑りは今回も大人気。初めての弓矢遊びはなかなか要領を得ず、上手く矢が飛びません。それでも手取り足取りの指導のお蔭で慣れてくると勢い良く的に当たります。「上手く飛んだね！」「誰が一番になるか競争だ！」



と煽り立てると子供たちは夢中で矢を射ります。竹伐り体験では貯金箱や一輪挿しに挑戦し、お土産に持って帰りました。最後は竹林の急な傾斜を上り下りして、作業の大変さも味わって貰いました。

この子たちが自然遊びの面白さを語ってくれ、親御さん共々私どもの活動に少しでも関心を寄せてくれればと願わずにはられません。

イノシシ待った！

「イノシシの巧みな生活ぶりを踏まえた被害対策」兵庫県立大学・横山真弓教授の講演会を聴いてきました。

Q) 柵があるのに、どうして畑に入るの？

A) 20 cmあれば下から潜り込みます。

また 1.2 ~ 1.5m助走なしで飛び越えます。70 kgを持ち上げます。

Q) 光、音、匂いなど対策グッズは効果あるの？

A) 学習能力が高く、1 ~ 2 回で安全と分かると、全く効果がありません。

Q) どこで子どもを産んだり、生活しているの？

A) 安全と分かればどこでも、川の近くなど好き。シダの葉っぱでふかふかベッドも。ねぐらはしょっちゅう変えます。

Q) 群れで行動するのですか？

A) 母系家族で行動します。平均 4 頭産みます。オスは 1 年ほどで群れから離れます。*親 5 頭と子ども（うり坊）20 数頭の 30 頭近い群れも（インターネット）

Q) どんな対策をしたら防げますか？

A) 電気柵はメンテナンスが重要ですが効果があります。金網を高さ 1.2m以上にして

下の部分にスカートをつけるなどしっかり設置すれば大丈夫ですが、メンテナンスしないと破られます。

イノシシのオブジェ

長岡京市里山再生市民フォーラム提供



もう少し詳しくは、
長岡京市環境の都づくり会議の
ホームページをご覧ください。

花を咲かそう PJT

2019年も元気に咲いておくれ

PJT サブリーダー 奥西弘武

1月8日 西山公園体育館と中央公民館で花の植え替えを行いました。春に植えたベゴニアは今夏の干ばつで殆んど枯れてしまい、体育館や公民館を訪れた人を落胆させたことでしょうか。今回は土質改良の一つとして腐葉土をたっぷり与え、パンジーを主体に植え込みました。うれしいこともありました。周辺を囲む多年草の菊はこの日を待っていたかのごとく満開で我々をむかえてくれました。とりどりの色の花に向かって“よく咲いてくれたね”とエールを交わした半日でした。



土壌改良作業



花に囲まれて



パンジーの植え付け

エコ PJT

長岡京市環境フェアに参加しました

PJT リーダー 田原誠一郎



①



②

1月17日に中央公民館で開催された環境フェアに、大人を対象とした「省エネ相談会」と、子供たちを対象とした「環境科学遊び」と「リサイクル工作」を展示しました。「省エネ相談会」では、これまで開催した相談会では最高人数の68名の方に診断に来ていただきました。今回は特に相談者の方が熱心で、ご自身のご家庭の取り組みを教えてください、こちらの話もよく聞いていただいたり、とてもよい相談会になりました。相談者の中にはアンケートのお答えが満点の方も数名おられ、大いに刺激を受けました。

「環境科学遊び」では、燃料電池のモデルとレモン電池（乾電池のモデル）また「リサイクル工作」では牛乳パックを使ったソーラーハウスを展示しました。

子供たちだけでなく、大人の方々にも大変興味を持っていただき、幅広く市民の皆さんに環境にやさしい「エコ生活」をアピールすることができました。

写真1 「省エネ相談会」には子供たちもたくさん参加してくれました

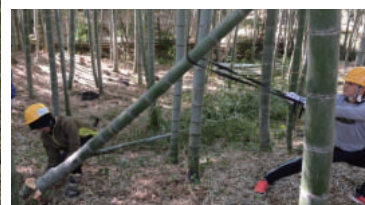
写真2 「科学遊び」と「リサイクル工作」は小さな子供さんにも人気がありました

竹林再生 PJT

竹林整備体験会に7名参加

PJT サブリーダー 渡辺節郎

9箇所放置竹林を整備していますが高齢化の影響で会員の減少が続き維持管理に苦労しています。特に今年は台風21号で竹や木の倒壊が多数出ていまだに放置されたままです。応援が欲しい思いでボランティアを確保するため、広報10月号に体験会の募集をしました。結果10月21日には5名（男性2名女性3名）と2回目の11月11日は2名が応募してくれました。全員竹切りは初めてで緊張気味でしたが倒す方向に切口を入れて切った竹が倒れて大きな音がすると「ヤッター」の声が飛びだし楽しく体験してくれました。最後に嬉しいニュースです。1回目に参加した小西夫妻が正式に入会の申し込みがありました。この結果に励まされてこれからも体験会を行い多くの市民と課題を共有しながら西山の緑を守っていきます。



竹林で百人一首を楽しもう！



日時：平成31年1月19日（土）

午後1時半～3時

場所：河合竹林（光明寺付近）

主催：長岡京市立中央公民館

講師：長岡京市環境の都づくり会議

対象：長岡京市在住・在勤の小学生以上

定員：先着30名

竹林の中で「五色百人一首」を習得しながら、環境問題、放置竹林について楽しく学びましょう。

※申し込み：電話（075-951-1278）
または公民館窓口へ

平成30年12月15日（土）から受付開始



向日ヶ丘支援学校の学園祭に参加して



同学校では、近年、子供たちの学習活動に、地域社会とのふれあいを積極的に進めることで一社会人としての成長を後押しする取組みを始められています。

去る10月30日～11月2日には全校生徒を対象に、地域住民や福祉関係者、大学生などの支援を得て大規模な学園祭が開催され、延512名の多くの来場者で賑わいました。

私たち環境の都づくり会議も、11月1日、竹林再生とエコプロジェクトの会員11名が参加しました。当日、体験コーナーでは竹切り体験と竹ポットづくり(50個)を、お遊びコーナーでは牛乳の空き箱を利用したブンブンゴマ、西山の間伐材を使ったペンダント(各40個)を子供達と一緒に作り、楽しみました。

発表会の会場では、参加者と一緒にになった小学部の子供たちの玉入れ競争、高等部と大学生合同による“よさこい踊り”は大そう盛り上がり、子供たちのハンデを感じさせない一生懸命な姿に感動しました。

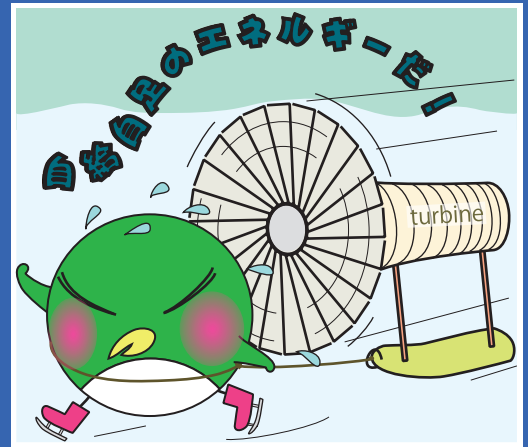
自分たちでもやれば出来るんだと子供達もきっと自信を持ってくれたことと思います。



大学生と高等部6組による南中ソーラン

私たちと支援学校は2年前に竹で繋がりましたが、これからも社会との多くの交わりの中で、学び体験し、自分らしく、また、一人の人間として成長してくれる事を願ってやみません。

竹林再生プロジェクト 渡辺節郎



ミヤコちゃんのエコまんが 作：船越聡

2019年 環境年間行事日程 直近版(1月～3月)

	共通、広報	こここCOライブ	エコ(地球温暖化防止等)	里山再生・西山F環境探検隊	ビオトープ	竹林再生	花を咲かそう、等
1	環都ニュース発行(1/1) 環都新年会兼月例会議(1/8) 竹林で百人一首を楽しもう(1/19)			森林ボランティア(1/13) 森林ボランティア(1/20)	竹炭焼き(第2,4木曜) すくすく炭焼き・四小(1/12)	竹林整備活動(毎週月曜) 3PJT 合同例会(1/18)	
2	環都月例会議(2/12)			森林ボランティア(2/3) 西山F環境探検隊-4(2/16) 森林ボランティア(2/17)	竹炭焼き(第2,4木曜) すくすく炭焼き・十小(2/23)	竹林整備活動(毎週月曜) 3PJT 合同例会(2/15)	
3	環都月例会議(3/12)		エコ Me(3/)	森林ボランティア(3/3) 森林ボランティア(3/17) 里山講演会(未定)	竹炭焼き(第2,4木曜)	竹林整備活動(毎週月曜) 3PJT 合同例会(3/15) 3PJT 合同年次総会(3/)	“春の準備” 緑サボ(3/)

あなたも「長岡京市環境の都づくり会議」に参加してみませんか。どなたでも参加できます。
問合せは江川まで。Tel. 075-957-6169
E-mail egawam@kyoto.zaq.ne.jp

「長岡京市環境の都づくり会議」では、さらなる活動の飛躍を期して活動協賛金を募っております。一口年間1,000円(一口以上)

事務所：多世代交流ふれあいセンター内
〒617-0812 長岡京市長法寺谷山13-1

ホームページもご覧下さい。

各PJTの活動内容写真などがあります。
「長岡京市環境の都づくり会議」で検索してください。

編集後記

2020年から運用を開始する地球温暖化対策の国際枠組み「パリ協定」が会期を延長して議論されており、どのように決まるか気になるところです。新しい年は環境関係でも良いニュースが多く聞ける年になってほしいですね！